



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 古河機械金属株式会社

コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 相馬 信義

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 岩田 穂

TEL 03-3212-7021

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	74,156	△9.0	298	14.3	△345	—	△3,259	—
23年3月期第2四半期	81,458	32.7	260	—	△629	—	△236	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △2,975百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △3,325百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	△8.07	—
23年3月期第2四半期	△0.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	189,710	—	44,631	—	22.7
23年3月期	196,234	—	47,622	—	23.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 43,058百万円 23年3月期 45,849百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円銭	
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 配当予想の修正につきましては、本日(平成23年11月4日)公表いたしました「業績予想値と実績値との差異および業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	157,000	△5.2	1,800	△36.2	300	△75.6	△3,000	—	△7.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正につきましては、本日(平成23年11月4日)公表いたしました「業績予想値と実績値との差異および業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	404,455,680 株	23年3月期	404,455,680 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	307,767 株	23年3月期	306,068 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	404,148,720 株	23年3月期2Q	404,155,636 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算説明会終了後、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
平成24年3月期 第2四半期決算短信 補足資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～9月30日）における我が国経済は、東日本大震災により打撃を受けたサプライチェーンの立て直しが進み、景気が持ち直しつつありますが、米国債の格下げや欧州債務危機を背景とする円高が急速に進行し、依然、厳しい状況が続いております。

このような経済状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は741億56百万円（対前年同期比73億1百万円減）、営業利益は2億98百万円（対前年同期比37百万円増）となりました。売上高は、産業機械部門、開発機械部門、ユニック部門が対前年同期増収となりましたが、金属部門、電子部門が大きく減収となりました。営業利益は、電子部門が対前年同期減益となりましたが、産業機械部門、開発機械部門、ユニック部門が増益となりました。経常損失は3億45百万円（対前年同期比2億84百万円の損失減）となり、特別損失に投資有価証券評価損32億36百万円他を計上した結果、四半期純損失は32億59百万円（対前年同期比30億22百万円の損失増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの業績の概況は次のとおりです。

[産業機械]

鋼構造物、ポンプ、一般産業機械で順調に販売を伸ばすことができ、産業機械部門の売上高は49億85百万円（対前年同期比4億22百万円増）、営業損失は87百万円（対前年同期比1億58百万円の損失減）となりました。

[開発機械]

国内では、震災の復興需要により、油圧ブレーカ、圧砕機が増収となりました。海外は、円高を背景に、中近東、東南アジアでは外国メーカーとの厳しい競争が続きましたが、北米、欧州をはじめ、一般的に需要が回復しました。開発機械部門の売上高は127億68百万円（対前年同期比12億17百万円増）、営業利益は1億26百万円（前年同期は4億22百万円の損失）となりました。

[ユニック]

震災によるサプライチェーンの分断により期前半には普通トラック減産の影響を受けましたが、後半には回復し、復興需要もあって、売上を伸ばすことができました。ユニック部門の売上高は72億33百万円（対前年同期比8億23百万円増）、営業利益は1億74百万円（前年同期は1億49百万円の損失）となりました。

産業機械、開発機械及びユニックの機械3部門の合計売上高は249億87百万円（対前年同期比24億63百万円増）、営業利益は2億13百万円（前年同期は8億18百万円の損失）となりました。

[金 属]

電気銅の海外相場は期後半に急落する展開となりました。4月に9,336.00米ドル/トンでスタートした後、米国の追加金融緩和の終了を控え軟調に推移しましたが、6月のギリシャ議会での緊縮財政案の通過などを背景とした対ユーロでの米ドル安から値を戻し、7月には鉱山ストもあり、堅調に推移しました。しかしながら、8月には米国債の格下げや欧州債務危機への警戒感から急落し、7,131.50米ドル/トンで9月の取引を終えました。電気銅の国内建値は4月に83万円/トンで始まり、期末には60万円/トンとなりました。

金属部門の売上高は、震災のため主要委託製錬先の一つが6月末まで操業を休止したことによる電気銅の減収もあり314億36百万円（対前年同期比83億74百万円減）、営業利益は89百万円（前年同期は7百万円の損失）となりました。

[電 子]

いわき工場は震災の影響により操業を休止していましたが、4月中旬に操業を再開しました。高純度金属ヒ素および結晶製品は、震災および原発事故の影響や半導体市況の低迷により販売量が減少しました。電子部門の売上高は25億21百万円（対前年同期比13億55百万円減）、営業損失は9百万円（前年同期は7億70百万円の利益）となりました。

[化成品]

亜酸化銅の他、硫酸も好調で増収となりました。新製品である、めっき用酸化銅も売上を伸ばすことができました。化成品部門の売上高は26億78百万円（対前年同期比1億93百万円増）、営業利益は1億27百万円（対前年同期比12百万円増）となりました。

[塗料]

環境配慮形の粉体塗料は堅調に推移しましたが、道路標示工事の減少や震災の影響により減収となりました。塗料部門の売上高は74億43百万円（対前年同期比1億35百万円減）、営業損失は1億99百万円（対前年同期比1億77百万円の損失増）となりました。

[不動産]

日本橋室町東地区再開発計画の進捗に伴う古河ビル解体により減収となりました。不動産部門の売上高は6億34百万円（対前年同期比2億13百万円減）、営業利益は1億98百万円（対前年同期比1億45百万円減）となりました。

[燃料]

販売価格の上昇により増収となりました。燃料部門の売上高は、40億61百万円（対前年同期比1億27百万円増）、営業損失は22百万円（対前年同期比17百万円の損失減）となりました。

[その他]

当社グループの運輸事業を主に行っております。売上高は3億92百万円（対前年同期比7百万円減）、営業損失は63百万円（対前年同期比6百万円の損失増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,897億10百万円で、前連結会計年度末に比べ65億24百万円減少しました。これは主として現金及び預金、受取手形及び売掛金、上場株式の株価下落による投資有価証券の減によるものであります。負債合計は1,450億79百万円で、前連結会計年度に比べ35億33百万円減少しました。これは主として長期借入金の減少によるものであります。有利子負債（借入金）の当第2四半期連結会計期間末残高は874億68百万円で、前連結会計年度末に比べ17億96百万円の減となりました。純資産は446億31百万円で、四半期純損失の計上等により前連結会計年度末に比べ29億91百万円の減となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主として売上債権の減少等により4億18百万円の純収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは主として有形固定資産の取得による支出により5億48百万円の純支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは主として短期および長期借入金の返済による支出により19億52百万円の純支出となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は前連結会計年度末に比べ20億30百万円減少し、142億40百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、前回（平成23年8月5日）発表の業績予想における前提は第3・第4四半期で銅価を9,000米ドル/トン、為替を80円/米ドルとしておりましたが、直近の状況を考慮し銅価を7,500米ドル/トン、為替を76円/米ドルに変更いたしました。その結果、金属部門での減収等により、売上高を前回発表予想より下方修正いたしました。為替の見直しによる開発機械部門における輸出や金属部門での採算悪化が見込まれ、また第2四半期に発生した投資有価証券評価損により、営業利益、経常利益および当期純利益を下方修正いたしました。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,268	14,238
受取手形及び売掛金	25,197	23,957
有価証券	5	5
商品及び製品	11,217	12,561
仕掛品	5,182	6,722
原材料及び貯蔵品	13,262	12,441
その他	9,237	7,727
貸倒引当金	△172	△146
流動資産合計	80,199	77,508
固定資産		
有形固定資産		
土地	59,073	58,675
その他(純額)	26,584	26,488
有形固定資産合計	85,657	85,164
無形固定資産		
のれん	598	517
その他	238	234
無形固定資産合計	836	752
投資その他の資産		
投資有価証券	24,605	21,972
その他	6,759	6,080
貸倒引当金	△1,825	△1,768
投資その他の資産合計	29,540	26,285
固定資産合計	116,035	112,201
資産合計	196,234	189,710
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,652	24,100
短期借入金	30,010	30,702
未払法人税等	438	218
引当金	288	255
その他	16,066	14,046
流動負債合計	70,456	69,322
固定負債		
長期借入金	59,254	56,766
引当金	1,821	1,874
資産除去債務	191	194
その他	16,888	16,922
固定負債合計	78,156	75,756
負債合計	148,612	145,079

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	17,309	14,105
自己株式	△45	△45
株主資本合計	45,472	42,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	293	738
繰延ヘッジ損益	△109	△55
土地再評価差額金	3,288	3,233
為替換算調整勘定	△3,096	△3,126
その他の包括利益累計額合計	376	790
新株予約権	53	53
少数株主持分	1,720	1,519
純資産合計	47,622	44,631
負債純資産合計	196,234	189,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	81,458	74,156
売上原価	72,858	65,156
売上総利益	8,600	9,000
販売費及び一般管理費	8,339	8,702
営業利益	260	298
営業外収益		
受取配当金	260	208
その他	347	417
営業外収益合計	608	626
営業外費用		
支払利息	782	706
休鉱山管理費	296	319
その他	420	244
営業外費用合計	1,499	1,269
経常損失(△)	△629	△345
特別利益		
固定資産売却益	71	6
負ののれん発生益	—	8
事業譲渡益	135	—
その他	12	2
特別利益合計	219	17
特別損失		
投資有価証券評価損	9	3,236
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	109	—
その他	298	290
特別損失合計	417	3,526
税金等調整前四半期純損失(△)	△828	△3,853
法人税、住民税及び事業税	206	163
法人税等調整額	△773	△549
法人税等合計	△566	△386
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△261	△3,467
少数株主損失(△)	△25	△207
四半期純損失(△)	△236	△3,259

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△261	△3,467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,672	467
繰延ヘッジ損益	98	40
為替換算調整勘定	△370	△82
持分法適用会社に対する持分相当額	△118	67
その他の包括利益合計	△3,063	492
四半期包括利益	△3,325	△2,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,196	△2,790
少数株主に係る四半期包括利益	△129	△184

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△828	△3,853
減価償却費	1,627	1,662
投資有価証券評価損	9	3,236
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14	△58
受取利息及び受取配当金	△305	△245
支払利息	782	706
売上債権の増減額(△は増加)	1,657	1,272
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,298	△1,946
仕入債務の増減額(△は減少)	△962	225
その他	2,048	△22
小計	6,312	976
利息及び配当金の受取額	384	287
利息の支払額	△801	△703
法人税等の支払額	△388	△496
法人税等の還付額	1,563	353
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,070	418
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△897	△1,096
有形固定資産の売却による収入	117	447
長期貸付金の回収による収入	1	103
その他	58	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△720	△548
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,232	5,989
短期借入金の返済による支出	△2,452	△5,945
長期借入れによる収入	8,390	6,500
長期借入金の返済による支出	△10,593	△8,340
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△129	△148
その他	△16	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,569	△1,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	△242	51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,538	△2,030
現金及び現金同等物の期首残高	20,257	16,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,796	14,240

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	4,562	11,551	6,410	39,811	3,876	2,485	7,578
セグメント間の 内部売上高又は振替高	841	9	28	340	44	396	9
計	5,403	11,561	6,438	40,151	3,921	2,881	7,587
セグメント利益又は損失 (△)	△246	△422	△149	△7	770	114	△21

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	848	3,934	81,058	399	81,458	—	81,458
セグメント間の 内部売上高又は振替高	76	148	1,896	632	2,528	△2,528	—
計	925	4,083	82,954	1,032	83,987	△2,528	81,458
セグメント利益又は損失 (△)	344	△39	342	△56	286	△25	260

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△25百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△25百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	4,985	12,768	7,233	31,436	2,521	2,678	7,443
セグメント間の 内部売上高又は振替高	710	18	33	281	4	416	6
計	5,695	12,787	7,266	31,717	2,525	3,095	7,450
セグメント利益又は損失 (△)	△87	126	174	89	△9	127	△199

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	634	4,061	73,764	392	74,156	—	74,156
セグメント間の 内部売上高又は振替高	67	169	1,708	631	2,339	△2,339	—
計	702	4,231	75,472	1,023	76,496	△2,339	74,156
セグメント利益又は損失 (△)	198	△22	398	△63	334	△36	298

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△36百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△42百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

金属前提

		今回予想	対前年同期増減
銅価	第2四半期累計決算 \$/mt	9,070	1,935
	第3~4四半期累計予想 \$/mt	7,500	△ 1,643
	年度予想 \$/mt	8,300	161
為替	第2四半期累計決算 円/\$	79.8	△ 9.1
	第3~4四半期累計予想 円/\$	76.0	△ 6.5
	年度予想 円/\$	78.0	△ 7.7

平成24年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

2011年11月4日

古河機械金属株式会社

〔売上高〕

(単位:百万円 単位未満切捨)

	平成23年3月期	平成24年3月期	対前年同期増減
	第2四半期累計期間	第2四半期累計期間	
機械部門	22,524	24,987	2,463
（産業機械）	(4,562)	(4,985)	(422)
（開発機械）	(11,551)	(12,768)	(1,217)
（ユニック）	(6,410)	(7,233)	(823)
金属部門	39,811	31,436	△ 8,374
電子部門	3,876	2,521	△ 1,355
化成品部門	2,485	2,678	193
塗料部門	7,578	7,443	△ 135
不動産部門	848	634	△ 213
燃料部門	3,934	4,061	127
その他	399	392	△ 7
【合計】	81,458	74,156	△ 7,301

平成24年3月期	
年度予想	対前年増減
53,650	6,624
(13,250)	(2,594)
(25,200)	(1,319)
(15,200)	(2,709)
65,000	△ 14,979
5,900	△ 1,247
5,400	323
15,000	△ 40
1,200	△ 377
10,050	1,045
800	14
157,000	△ 8,638

〔営業利益〕

	平成23年3月期	平成24年3月期	対前年同期増減
	第2四半期累計期間	第2四半期累計期間	
機械部門	△ 818	213	1,031
（産業機械）	(△ 246)	(△ 87)	(158)
（開発機械）	(△ 422)	(126)	(549)
（ユニック）	(△ 149)	(174)	(324)
金属部門	△ 7	89	97
電子部門	770	△ 9	△ 780
化成品部門	114	127	12
塗料部門	△ 21	△ 199	△ 177
不動産部門	344	198	△ 145
燃料部門	△ 39	△ 22	17
その他	△ 56	△ 63	△ 6
（計）	286	334	48
調整額	△ 25	△ 36	△ 11
【合計】	260	298	37

平成24年3月期	
年度予想	対前年増減
1,500	2,066
(650)	(679)
(300)	(650)
(550)	(736)
△ 100	△ 1,594
200	△ 1,079
300	30
△ 300	△ 206
350	△ 285
0	56
△ 100	△ 7
1,850	△ 1,020
△ 50	0
1,800	△ 1,021